



D.I. 質問箱

Q57

ESBL について教えていただけますか。

(当検査センター細菌検査部門にお問い合わせいただいたご質問からピックアップ)

A57

ESBL (Extended Spectrum Beta Lactamase) : 基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ

βラクタム薬(抗生剤)は細菌の細胞壁の合成を阻害して抗菌作用を発揮する薬剤ですが、ESBL 産生菌はこのβラクタム薬を分解する酵素(βラクタマーゼ)を産生することによって耐性化しています。

この分解する酵素のβラクタマーゼ産生遺伝子が、突然変異により分解可能な薬剤の種類を広げ、第3世代のセフェム系(CTX、CAZ 等)をも分解するβラクタマーゼを産生するようになるので、基質特異性拡張型βラクタマーゼ(ESBL)と呼ばれています。

ESBL 産生菌は肺炎桿菌、大腸菌が主でしたが、ESBL 産生遺伝子は接合伝達によって腸内細菌科の異なる菌種間に伝達され、最近ではセラチア、エンテロバクター、プロテウスなど多菌種に広がってきており、今後も増加することが懸念されます。

※検査センターではESBLの疑いがある場合は、初回の方のみに「ESBL 疑い」とコメントを入れて報告しています。

お問合せ：学術データインフォメーション(D.I.) 課まで

0120-14-8734 (フリーダイヤル) / 082-247-4325 (ダイヤルイン)



お気づきだったでしょうか。このページの最下段に広報委員が名を連ねていますが、本年から2人新しく加わっています。

27年余り検査技師として勤務している熊川が学術関連記事づくりのサポーターとして、また、若手営業員の高磨がお客様の目線に立った記事づくりのサポーターとして当検査センター広報委員会に仲間入りしました。

ご覧いただいている先生方やメディカルの方々にとって、親しみやすく、そして分かりやすく、なおかつ実践的で役立つ情報をお届けできるよう、そんな『臨床検査センターだより』を今後も目指していきます。

初岡 博(広報委員)

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博 / 熊川 良則 / 高磨 潤

